

【フロンティアスクール用中間報告様式】小学校用

都道府県名	東京都
-------	-----

、学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	品川区立大間窪小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	20
児童数	71	79	69	59	46	45	10	379	

、実践研究の概要

1、研究主題

自信をもって行動する子の育成 - 基礎基本の定着を計る算数科の指導法の工夫 -

2、研究内容与方法

(1)実施学年・教科

・全学年で実施
 ・算数科
 （個人差の大きい教科であるため、基礎学力の定着のため）

(2)年次ごとの計画

平成14年度
 テーマ 「自信をもって行動する子の育成」～基礎基本の力を育む算数科の指導法の工夫～
 研究の見通し（仮説） 算数の基礎基本を定着を図り、自信をもって学ぶ子を育成
 研究内容・方法
 (1)学期1回以上学力（算数）調査を実施する。
 (2)基礎基本の学力を定着するための指導方法の工夫・改善及び指導体制を構築する。
 (3)「習熟度別学習」の指導方法の工夫・改善をし、児童の変容を分析する。

平成15年度
 テーマ 「自信をもって行動する子の育成」
 ～基礎基本の学力の定着を図る算数科の指導法の工夫～
 研究の見通し 個に応ずる指導を進め、基礎基本の学力の定着
 （児童一人一人の力を評価し、評価をもとに教材を吟味し、学習形態を工夫することで）
 研究内容・方法
 (1)複数教師（担任・TT・指導助手・専科教師等）による習熟の程度に応じたグループや個別指導方法の工夫をする。
 (2)学級の枠をはずし、習熟の度差に応じた学習グループ（集団）を編成し、異なる複数の教師による指導体制の工夫をする。
 (3)学期1回以上学力（算数）調査を実施し、児童の変容を分析する。
 (4)小中の連携を図り、小・中学校の算数及び数学の基礎学力定着の課題を明らかにする。

平成16年度
 テーマ 「自信をもって行動する子の育成」
 ～基礎基本の学力の定着を図る算数科の指導法の工夫～
 研究の見通し 個に応ずる指導を進め、基礎基本の学力の定着し、総体として学力の向上の実現
 研究内容・方法
 (1)「習熟度別学習」「複数指導体制による個別指導」の工夫・改善・充実及び指導組織の改善を図る。
 (2)学力の定着度を調査する調査内容、方法を開発する。
 (3)学期1回以上学力（算数）調査を実施し、児童の変容を分析する。
 (4)小中の連携を図り、9年間を見通した算数の指導計画を作成する。

(3) 研究推進体制

校内研究全体会 ———— 研究推進委員会

低学年部会
中学年部会
高学年部会

小中連携協議会（隣接小学校 3 校・中学校 1 校 計 7 校）

平成 15 年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

成果

アンケート調査及び学力テストの結果

< 児童の変容 >

- ・少人数で学習できることに対して「好き」と答える児童が 80% 以上になった。
- ・算数が苦手としていた児童が「コースを選んで学習することが楽しいし、分かりやすい」と答える児童が 80% であった。

理解の早い子が、チャレンジできるコースがあることで、充実感を得ている。

- ・わからないとき、**自分で考える**児童が低学年 53%、中学年 21% 高学年 26% に対して、**先生に聞くが**、低 学年 18%、中学年 44% 高学年 45% と意外な結果を得た。

・期末のテストでは、計算問題は、90% 以上の正解率、文章題や応用問題では、75% 以上の正解率となってきた。

- ・品川区一斉の学力定着度テストの結果では、すべての領域で区平均の習熟度率を上回った。

（平成 14 年度第 6 学年）

< 教師の変容 >

- ・教師自身の児童の実態を見る目の向上と指導法の改善の手応えを感じている。

2. 今後の課題

課題

「習熟度別学習」「複数指導体制による個別指導」の取り組みを更に充実させるための指導方法の工夫及び指導体制を構築する。

小中の連携を図り、9 年間を見通した算数の指導計画を作成する。

学力の定着度を調査する調査内容、方法を開発する。学力の伸びの検証方法。

学力把握のため学校としての取り組み

- ・単元のプレテストを実施し、指導計画を練る。
- ・単元指導後の習熟度テストの実施。
- ・学期末の学力テストの実施。（年 3 回）
- ・児童の意識調査
- ・学年の系統や中学校との算数・数学科との連結を意識した指導方法を確立する（大間窪的基礎基本の確立作業）

、フロンティアスクールとしての成果の普及について

- ・年3回の学校公開の実施。
- ・HP作成予定 (<http://www1.cts.ne.jp/^omakubo>)
- ・平成16年度11月研究発表会を実施予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | |
|---------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 |
| 【学校規模】 | 6学級以下
13～18学級
25学級以上 | 7～12学級 但し心障学級を除く
19～24学級 |
| 【指導体制】 | 少人数指導
一部教科担任制 | T・Tによる指導
その他(指導助手) |
| 【研究教科】 | 国語 社会
生活 音楽
体育 その他 | 算数 理科
図画工作 家庭 |
| 【指導法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | 有 無 |